

■ 懇談会での主な意見交換内容

地域資源を活用したまちづくりへの意見

おもてなしの店の目印が欲しい。「まちの駅」はシンボルマークがあり、加盟すると商標を使用できる仕組みとなっている。

本町：市都市計画課と協働で案内板を製作中である。

(3月末完成：白河医術講義所跡など)

【市都市計画課】文字や色はサイン計画に基づいた統一感の取れたものとします。デザインは、商工会議所などにも協力を求め、決めていく予定です。まずは本町をモデルケースと考え、その後、周辺の町内に広めていきたいと考えています。

他の町内に広げていくために、本町で作成する際に、他の町内会にも呼びかけ、一緒に作ってみたいはどうか？

本町：ブックやマップは各店舗におき、おもてなしの店を増やし、積極的に活動していく予定である。背景には、甲子トンネルの開通があり危機感を抱いている。

人を集める核・起点づくりが必要(駅、駅前に計画中の図書館、観光案内所など)



まちの駅
シンボルマーク



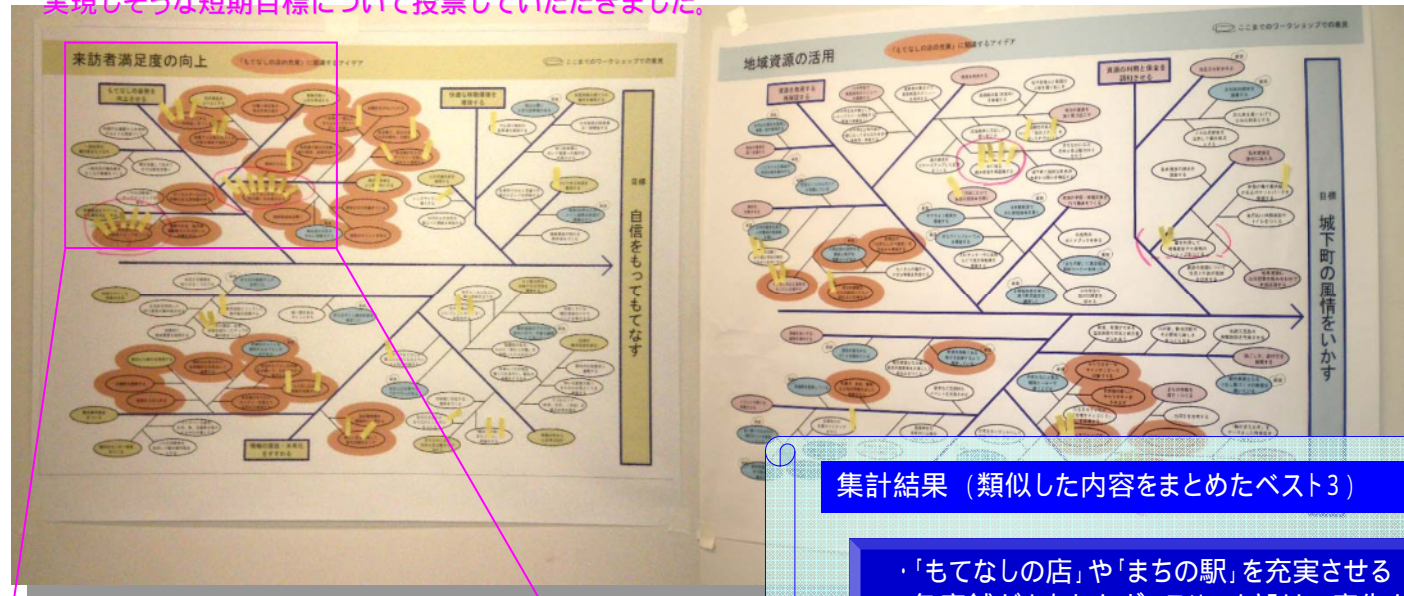
懇談会の様子



女性の意見を取り入れる。棚倉は男性よりも元気、活発に活動している。

外部への情報発信、PRが必要。例えば、坂本龍馬や直江兼続など、他の地域ではNHKドラマをきっかけに積極的にPRしている。白河も本年からドラマ化される「坂の上の雲」などを利用して、歴史をPRしてはどうか？

これまでに懇談会で出された意見のツリー図(集約図)の中から、今後の地域資源を有効活用したまちづくりに向け、実現しそうな短期目標について投票していただきました。



懇談会で出された皆さま方のアイデアや意見をもとに、地域資源を有効活用したまちづくりに向けた「提案書」としてまとめます。

「おもてなしの店の充実」の観点からの提言

「おもてなしの店の充実」について、実訪者満足度の向上の観点からまちづくりを考えてみます。

●これまでに実現している活動

1. 資源の価値を向上させる
 - ・長く続く「たるま市」や「提灯まつり」を実施している
 - ・奥州街道沿いの町や商店街で祭を行う
 - ・人形をいかして「端午の祭り」や「ひな祭り」を実施している
 - ・谷津田川で灯籠流しのイベントを開催している
 - ・ラーメンや蕎麦を売りに出している
 - ・子どもたちに人気の輪滑ヒローを盛り上げる
 - ・伝統工芸品の体験を充実させる
 - ・観光資源となる「つるし雛づくり」の教室を開いている
 - ・小原住友の碑と句を看板に掲げる酒屋さんがいる

●次の目標(短期)

「標識・案内板などの充実」の観点からの提言

「標識・案内板などの充実」について、地域資源の活用観点からまちづくりを考えてみます。

●これまでに実現している活動

1. 資源を発見する、再認識する
 - ・友月山の歴史を勉強し維持・保守管理する
 - ・ハリストス正教会や有名な桜を案内する
 - ・白河ツーリズムガイドが活動している
 - ・白河の歴史を語る人材育成の勉強会を開く
 - ・サテライト教室を開催する
 - ・まちづくりフォーラムを開催する
 - ・公民館教室で文化財勉強会を開く
 - ・「まちの駅」に歴史勉強資料コーナーを作った

●次の目標(短期)

2. 情報の提供・共有化をすすめる
 - ・まちの散策マップを作った
 - ・市ではサイン基本計画を策定した
 - ・休憩所やトイレを提供するおもてなしの店がある
 - ・観光協会のブログは面白いので、今後も継続してほしい

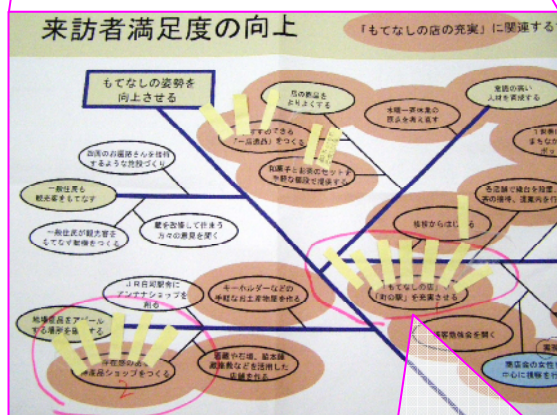
集計結果(類似した内容をまとめたベスト3)

・「おもてなしの店」や「まちの駅」を充実させる
 ・各店舗がまちなかギャラリーを設けて店先から発信する
 ・「おもてなしの店」の看板を充実させる
 ・おもてなしの心と技術を持った人を増やす
 計13票

・存在感のある特産品ショップをつくる
 ・おすすめできる「一店逸品」をつくる
 ・蔵を利用して地場産品や土産物のショップをつくる
 計10票

・各町の歴史、由来、自慢を紹介したマップや案内板をつくる
 ・今に残る奥州街道を再認識する
 ・キャッチフレーズをつくる
 計8票

ほかにもいろいろな目標に投票していただきました。



ひとり3箇所ずつ付箋を貼ってもらいました。付箋の数が投票数です。